

特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金

事業報告 第2号 (2004年度)

(1) 学用品支援事業・・・就学生へ文具品の寄与 (2004年5月)

就学児童数が昨年より75人増加したにも関わらず、皆様のご支援のおかげで、昨年と同様の規模の就学児童及び成人、合計193名へ年間に必要な文具品(43,375ルピー相当)を寄与できました(表1)。条件は下記の通りです。

- a. サッレ村在住の就学生、またはサッレ村内の学校に通学している他の村の就学生が対象。
- b. 進級試験の合格者の場合、学校の出席率が月80%以上(塾は月90%以上)、不合格者の場合は、学校が月90%以上(塾は月100%)であること。

表1 文具品を寄与された就学生

学年	女	男	計
バル・ピパル学校			
1	23	20	43
2	12	8	20
3	10	6	16
4	10	19	29
計	55	53	108
夜間成人クラス			
1	0	35	35
2	9	0	9
3	7	0	7
計	16	35	51
パンチャ・カンニヤ学校			
5	3	6	9
シャンカ・デヴィ学校			
6	6	3	9
7	5	2	7
8	0	2	2
9	0	5	5
10	1	1	2
計	12	13	25
合計	86	107	193

(2) 奨学資金支援事業・・・第4回奨学生の決定及び文具品寄与 (2004年5月)

サッレ村内外の優秀な就学生38名に、奨学生用の文具品(5,326ルピー相当)を寄与しました(表2)。生徒達は、奨学品をもらうために一生懸命勉強し今回も昨年と同様、多くの生徒達が前回の奨学生でした。条件は下記の通りです。

- a. サッレ村とその近隣の村の学校に通う就学生が対象。
- b. 毎年行われる進級試験の成績順上位4名です。

尚、成人につきましては、進級試験が2年おきに行われるため今回は審査対象外となりました。次回の試験は春頃の予定です。

表2 優秀な奨学生

学年	女	男	計
バル・ピパル学校			
2	2	2	4
3	4	0	4
4	1	3	4
計	7	5	12
パンチャ・カンニヤ学校			
2	1	3	4
3	1	4	5
4	3	1	4
5	2	2	4
計	7	10	17
シャンカ・デヴィ学校			
6	2	2	4
7	0	1	1
10	0	1	1
計	2	4	6
ラマスタン学校			
3	0	1	1
バゲソーリ学校			
3	1	0	1
マナルピ学校			
3	0	1	1
合計	17	21	38

(3) 識字率向上支援事業・・・脱穀機の購入 (2004年6月)

成人、特に女性の就学に関して、経済的・時間的余裕が無いために通学不可能な者がいるため、どうしたら良いか、理事とリジャルを介して現地委員会で相談した結果、脱穀機の導入を決めました。

ネパールの村々では、米の脱穀やヒエ・トウモロコシを粉状に砕く作業を、現在でも各家庭が手作業で行いますが、近年は脱穀機を使う村も増えています。サッレ村には購入の経済的余裕が無いため、往復2時間歩いて隣のダダ村で使用料を払い脱穀機を使わせてもらっていました。時間や金銭に余裕の無い家庭では、たいてい主婦や子供が毎日夜明け前に作業を行っていました。

サッレ村には電力がないため、ガソリンで動く脱穀機を購入し、ダダ村の使用料の半額で使用できるようにすれば、時間や金銭に余裕の無い家庭にも就学機会ができること、また就学に関心を持たない家庭にも意識を向けさせることができることで、出席率向上の結果をもたらすのではないかと考えました。そして、現地の委員会で以下のルールを決め、脱穀機を購入しその管理者を雇いました。

- a. 夫婦の一方または両方が文盲の所帯では、本人の就学出席率が月 60%以上であれば、半額料金で脱穀機の使用ができる。月 60%以下の場合、使用料は全額料金となる。
- b. 夫婦とも字が十分に読める所帯は、就学不要なため半額料金で脱穀機を使用できる。
- c. 50 歳以上の高齢者しかいない所帯は、体力的に就学が困難なため半額で脱穀機を使用できる。

脱穀機の購入費、使用施設の建設費、燃料など当初の運営費の資金援助を致しました(表 3)。施設の建設には労働力として、村の 45 世帯から 5 日間ずつ延べ 225 人のボランティア協力がありました。管理者の人員費と今後の運営費につきましては、脱穀機使用料収入でほぼ賄える見込みです。脱穀機は、米の脱穀だけではなく、ヒエやトウモロコシを砕いて粉末にすることもできます。管理者は週 2 回の脱穀機運転の他、燃料調達と運搬、使用料の回収、使用者の就学出席率の管理も行います。

表3 脱穀機導入の費用
(単位:ルピー, 1ルピー=1.5円)

項目	金額
脱穀機一式購入費	58,291
必要機器・道具・燃料	4,662
使用施設建設費	72,303
管理人給料(1ヶ月分)	2,000
合計	137,256



(写真1 女性が木槌を踏んで脱穀する風景)

*** 脱穀機使用料金と穀物計測単位について**

使用料金の相場は、米が 1 パティで 1 ルピー、ヒエとトウモロコシが 1 パティで 2 ルピーです。ダダ村では、この 2 倍の料金です。ネパールでは、穀物を量る際に以下の単位を使用します。

- 1 マナ = 10 ムティ (約 0.55 リットル)
 - 1 パティ = 8 マナ (約 4.4 リットル)
 - 1 ムリ = 20 パティ (約 88 リットル)
- (1 ムティは、大人が穀物を一握り掴める量です)

脱穀などの手作業は、時間と体力を非常に消耗します。トウモロコシの粒を粉にする場合、日本のような石臼を手でゴロゴロと回します。米の脱穀は写真 1 のように重い角材を足で踏んで作業します。脱穀後に精米は行いません。

(4) 広報活動 ①・・・乗田貞勝展にてパンフレット配布と説明 (2004 年 6 月)

バリ、ネパール、パキスタンの自然を題材に作品を数多く描く、画家の乗田貞勝氏の個展が、福岡市の岩田屋店にて 9 日～15 日に開催されました。12、13 日の 2 日間乗田氏は、リジャルにご来場のお知り合いの方々をご紹介して下さい、当法人のパンフレット配布や説明をさせて頂きました。乗田氏やご紹介頂いた方々からご寄付がありました。また、佐賀新聞のインタビューを受け、後日新聞に記事が掲載されました(2004 年 6 月 23 日)。ご協力下さった乗田氏に感謝致します。

唐津市の乗る。
田貞勝さんが 専攻は都市環境工
ネパールの山 学。字面の印象は少
岳地帯を描い し違い、ネパールの伝
た「アンナブ 統的民家一季節、海抜
ルナとマチャ こと温熱環境などを
ブチャレの 分析し、住みやすさを
朝」。白く輝 追究する。土壁や土間
く頂上付近、山ろくの を生かし、「国の人た
黒や深い緑が、夜 ちのために」を研
が明ける一瞬を神 究のベースにす
秘的にとらえてい る。

稼ぎに出る年齢

その作品も並ぶ リジャルさんは
福岡の個展会場 国を愛し、誇りに
で、京都大学院 する一方で、識字
に学ぶネパールの 率 53% の厳しい現
リジャル・ホーム 実を直視する。今
バハドウルさん 大学院の傍ら、国
三巴と会った。生 の子もたちに教
育を受けさせる
まれ育った村は首都カ 「バル・ビバル奨学基
トマンズから直線で五 金」という NPO 活動
十時。といつてもバス に熱を注ぐ。○三年度
で四時間播られ、さら の奨学生は百五十六人
に五時間ほど歩いて で、低学年の小学生が
やっとたどりつく。乗 大半。貧しい村では、
田さんの「アンナブ 就学年齢の七歳は稼ぎ
ナー」は、リジャルさ に出る年齢とも受け止
んの心に焼き付くふ められている。

(横)

広報活動 ②・・・特定非営利活動法人ブッダ基金総会にて講演（2004年9月）

5日、ネパールの無医村での医療援助活動や、識字教育、生活向上のための援助活動など行っているブッダ基金の浜松市での第3回定期総会に、講演者としてリジャルが招待されました。サツレ村の生活や当法人の活動、リジャルの研究論文について、約1時間スライドを使って講演しました。ブッダ基金の方々からご寄付も頂きました。山口貴司理事長にはたいへんお世話になり、有難うございました。ブッダ基金の活動内容やリジャルの講演の様子は、ブッダ基金の下記のホームページでご覧になれます。

<http://www.buddha-f.com>

第1期収支計算書

(平成2003年9月9日～12月31日)

(単位:円)

(5) 図書館設立支援事業・・・第1期 設立準備金の積立開始

2004年度より、サツレ村に図書館を設立するための準備金の積立を開始致しました。日本国内で毎年10万円を10年間積立て、合計100万円を目指します。この準備金には図書館の建物の建設費、机やイスなどの設備費、書籍費が含まれます。

(6) 寄付金収入及び正会員数

いつもご寄付を有難うございます。64名様と5団体様のご寄付により、合計172,612円集まりました。

また、正会員数は3名増えて、合計13名となりました。

今後とも、引き続き宜しくお願い致します。

科目	決算額
I 収入の部	
1 入会金・会費収入	
正会員入会金収入	55,000
正会員会費収入	110,000
2 寄付金収入	
寄付収入	172,612
当期収入合計(A)	337,612
設立時資金有高	0
収入合計(B)	337,612
II 支出の部	
1 事業費	
(1)広報活動事業	33,358
(2)学用品支援事業	
(3)奨学資金支援事業	
(4)識字率向上支援事業	
(5)書籍購入支援事業	0
(6)図書館設立事業	100,000
2 管理費	
通信費	16,950
印刷費	2,680
消耗品費	25,483
雑費	7,272
振替手数料	1,550
3 予備費	0
当期支出合計(C)	187,293
当期収支差額(B)-(C)	150,319
次期繰り越し収支差額	150,319

2004年11月

特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金